

広聴広報委員会会議記録（概要）

令和5年1月20日（金）

開 会（午後1時30分）

【議 事】

○市議会だよりについて

浅野委員長

市議会だより第205号の原稿確認と校正が16ページあるので、各ページの割り振りについては、1ページ目を松本委員、2ページ目を亀山委員、3ページ目を福原委員、4ページ目を越阪部委員、5ページ目を平井議員、6ページ目を小林副委員長、7ページ目を浅野、8ページ目を谷口委員、9ページ目を佐野委員、10ページ目を石原委員、11ページ目を天野委員、12ページ目を末吉委員、もう一順して、13ページ目を松本委員、14ページ目を亀山委員、15ページ目を福原委員、16ページ目を越阪部委員とさせていただきます。

末吉委員

前回も指摘したが、表紙右上に「今回の定例会は、」とあるが、文章ではないので読点はいらないと思うがどうか。

浅野委員長

読点をとるということでよろしいか。

（委員了承）

(2 ページの校正を担当した委員から修正箇所等の指摘なし)

福原委員

問い合わせ先に市外局番を入れたほうがよいのではないかと。

浅野委員長

市外局番を入れることでよろしいかと。

(委員了承)

(4 ページの校正を担当した委員から修正箇所等の指摘なし)

平井議員

国民健康保険の賦課限度額という言葉が分かりにくいので、注釈を入れたほうがよいのでは。

末吉委員

確かに分かりにくい言葉なので注釈が必要だと思うが、このページではなく、2 ページに国民健康保険の賦課限度額が変わりますという記事があるので、このページに注釈を入れるのはどうか。

浅野委員長

2 ページに賦課限度額の注釈を入れることでよろしいかと。

(委員了承)

(5ページから8ページの校正を担当した委員から修正箇所等の指摘なし)

石原委員

私の一般質問の見出しが「まちの未来図から考えた施設整備を」となっているが、目的語がないと体育館を造るのか公園を造るのか分からないので、ここは子育て支援施設だとか行政用語で構わないので目的語を入れてほしい。

浅野委員長

一般質問の際はどのようなことを聞かれたのか。

石原委員

学童と保育園のことを聞いた。

浅野委員長

「まちの未来図から考えた子育て支援施設の整備を」とすることによってよろしいか。

(委員了承)

(10ページから13ページの校正を担当した委員から修正箇所等の指摘なし)

亀山委員

内容は分かりやすいが、文字がかなり小さいと思う。

松本委員

字は大きいほうがよいとは思いますが、言葉足らずになる傾向がある。後期高齢者の私からすると老眼でルーペを持ち歩いている人が増えたので、あまり心配しなくてよいのではないかと思う。

福原委員

今回はこのままでよいと思うが、A4版の市議会だよりが完成したら全員で確認し、文字の大きさを変えるべきかどうかの議論をすればよいと思う。

浅野委員長

3月定例会中の広聴広報委員会で2月15日発行の市議会だよりをご持参いただき、協議するという事によろしいか。

(委員了承)

福原委員

総務経済常任委員会の活動の見出しに「所沢から世界へ！」という見出しがあるが、言葉足らずな印象がある。確認だが、所沢で生産しているビクセンやムラマツフルートを世界に発信するという意味なのか。

議会事務局

所沢には世界に通用する特産品がたくさんあるということで「所沢から世界へ！」という見出しを付けています。

末吉委員

「所沢ブランドを世界へ！」がよいのでは。

浅野委員長

見出しを「所沢ブランドを世界へ！」としてよろしいか。

(委員了承)

平井議員

中議員の発言で「所沢にはまちもあるが」とあり、「まち」がひらがなだと分かりにくいので漢字の「街」がよいのでは。

浅野委員長

「まち」を漢字表記の「街」にしてよろしいか。

(委員了承)

越阪部委員

表紙の人物の説明が表紙に何もなく、市議会だよりとのつながりが分からないので工夫が必要では。

末吉委員

表紙の改革改善はずっとやってきていると思うが、あえて説明を抜いており、この人は何だろうと興味を持ってもらうことで手に取ってもらい、裏表紙を読んだり、中を読んでいただくために表紙に情報を書いていないと思っている。表紙から手に取ってもらいたいということで過去にはアンケートも行い、表紙に対する市民からの評価はよいと思う。

福原委員

裏表紙に表紙の説明を入れたほうが親切だとは感じた。

平井委員

どうしてこの人が表紙なのかを書いてあったほうが見てみようと思う
のではないか。例えばページの下に「議場コンサートにて」と書いてもよ
いし、説明が必要だと思う。

石原委員

市議会だよりのリニューアルのときに私は委員だったので経緯は分か
っているが、一見してこれは何だと思ってしまうような表紙が今まで継承されてい
て、今の表紙におかしさは感じない。逆に表紙のお二人がもっと大きくて
もよく、もっと攻めてもよいとも思っている。補足が入るのはよいと思う
が、路線はこのままでよいと思う。

末吉委員

裏表紙の議場コンサートの写真の下に「表紙の方は」と「議場コンサ
ート」という説明を入れたらよいのでは。

浅野委員長

裏表紙の写真の下に「表紙の方は」と「議場コンサート」という説明を
入れることでよろしいか。

(委員了承)

○議会報告会について

浅野委員長

前回の委員会で、現在開催している議会報告会を5月に2回開催し、11月は高校生との意見交換会等に変更してはどうかという意見があり、会派持ち帰りになっていました。今後の議会報告会の在り方について、ご協議をお願いします。

石原委員

自由民主党・無所属の会では、今までの議会報告会のスタイルは春に行い、秋の議会報告会は高校に限らずコミュニケーションの場を設けていく方向性がよいのではないという意見があった。

谷口委員

至誠自民クラブでは、高校生徒の意見交換会が議会報告会としてカウントされるのかは分からないが、議会報告会と意見交換会を合わせて年4回にするのがよいのではないかという意見があった。

平井委員

日本共産党では、谷口委員と同じ意見だ。高校生との意見交換会のほうが楽しかったので、堅苦しい意見交換会ではなく、ざっくばらんでよいと思う。

末吉委員

議会基本条例の改正や議会報告会実施要綱の改正を伴うのか。

議会事務局

議会報告会実施要綱の改正は必要になる可能性があると思います。

松本委員

高校生との意見交換会は盛り上がったが、従来から開催している議会報告会は本当に限られた人で固定される懸念がある。長生クラブでも青年会議所でもよいが、団体の人を集めてピンポイントで意見をもらってはという意見を聞いたことがある。いずれにしても、来期については来期の議員に決めてもらってはどうか。

石原委員

方向性だけでも申し送りしたほうがよいと思う。

末吉委員

意見交換会は必要という声があるのでやっていくのがよいと思うが、現在規定されている議会報告会というものとは違ってくると思う。条例や要綱が関わってくるものになるので、若い人との意見交換会イコール議会報告会ではないと思い、残り三カ月で議論を深めていくのは厳しいと思うので、来期の広聴広報委員会への申し送りとして協議してもらってはどうか。

浅野委員長

来期で決めるということですが、私としては石原委員が言うように方向性の確認は今期で行い、その要綱の検討を来期ですというのがよいと思う。

末吉委員

高校生との意見交換会がずっと続いていくかというのは、ある程度見込

みがあると思う。議会報告会は議会が主催なのでいつでもできるが、相手がある会だと、例えばできないだとか体制が変わってやりにくいということもあるかもしれないので、その点が議会が主催の事業と相手がある会を同列で扱うことの懸念になる。

浅野委員長

今回の二つの高校は担当教員が好意的だったというのがある。皆さんからの意見は高校生だけでなく他の団体、例えばPTAといった高校生に限定しない様々な団体と意見交換会を行い、各議員が年1回担当することになると思う。

末吉委員

議会報告会は議会基本条例が施行されたときからずっとやってきたもので、定例会の報告を行い、質問を受け、後半はフリートークをやってきた。各団体や特定の若い世代の意見交換会とは似ているが違う。少し整理をして切り分けないと、議会報告会というものの衰退になると思う。

亀山委員

会派できちんとした協議は行っていないが、末吉委員が言うように切り分けないと難しいのではという声は出ている。全部行くとスケジュール的にも大変忙しくなるということもあるので、もう少し方向性については議論に時間をかけないと決まらないと思う。

浅野委員長

意見交換会の調整をするのは正副委員長と事務局になる。今回、私たち

は期が長いので自分で動いたが、今度新しい方が議会報告会を4回開催した上に、高校生やPTAといった団体と打ち合わせをするのは大変ではないかという老婆心がある。

石原委員

新しい方も来られると思うが、その方々も議会報告会をやってみないと分からないということになり、そこで1、2年やるとまた来期も後半になるので、方向性を決めて申し送りするのがよいと思う。議会報告会の衰退というよりは広聴広報機能のバージョンアップと前向きに考えているので、相手方が見つかるかどうかということで回数を固定しなくても、そこは要綱の書き方で議会報告会を2回残すということであれば、どういう書き方でどうやるかは来期でしっかりと協議すればよいと思うが、委員長が示された方向性の中で申し送りをしたいと思う。

福原委員

議会報告会は今まで多く開催し、様々な反省点を評価する時期に来ていると思っている。回数が多いとか少ないというのを含めてしっかりと総括するべきで、総括することを申し送りするのがよいと思う。意見交換会は別なので、そこはそこで広聴広報委員会として様々なところで意見交換会として開催し、よいイベントだという感想が出ているので、来期に意見交換会の継続についてを申し送りするのがよろしいと思う。

平井委員

あらゆる形を持って市民との意見交換会として検討すればよい。

石原委員

総括するということは、ゼロベースの意見も出るがそれでよいのか。

平井委員

それでよい。

浅野委員長

来期の広聴広報委員会にお任せするというので、今日の意見をまとめます。

散 会 (午後2時28分)